

# 新型コロナウイルスの影響を受けた 家族のエンパワメント

～対話によるストレス軽減、金融知識の提供、  
子育てサポート～



The Philippines / フィリピン

氏名 Ena Marie Monter エナ (34 期)

所属団体 バハイ・トゥルヤン財団

新型コロナウイルスのパンデミックの影響等による不安や貧困等によって、家庭内に課題が生じた家族を支援するため、暴力等のトラウマに対する支援、お金に対する知識や能力の向上のための支援、子育て支援等の取り組みを行いました。

## 所属組織の概要

子どもに対する虐待や暴力の防止活動に取り組んでいます。子どもたちが気軽に立ち寄れる場を提供し、食事や入浴場所の提供等によりストリート・チルドレンの支援をしたり、若者の自立生活のスキル向上のためのプログラム等を実施しています。また、家族再統合の取り組みも行っています。

## 事業の目的

以下の目的のために実施しました。

- ・ 親の能力を高め、親が家庭内の役割を果たせるよう支援すること。
- ・ 貧困や家族の別離への不安による家族の崩壊を予防すること。
- ・ お金に関する知識を身に付け、子どもたちのために貯金を始めること。
- ・ 新型コロナウイルスのストレスやトラウマに関する感情を解消し、発散する場を設けること。
- ・ 家庭内の暴力の連鎖を断ち切ること。



## 活動地域

マニラ市内のレベライザ (Leveriza)、ダコタ (Dakota)、マラテ (Malate)、デルパン (Delpan)、トンド (Tondo)、キアポ (Quiapo) の各地域で実施しました。

## 対象者

所属する財団のシェルターに身を寄せ支援を受けている、社会的に不利な立場におかれた家族のために実施しました。



## 事業の成果

この活動にはさまざまな場所から参加者が集まり、そのほとんどが母親とその子どもたちで、一人で子どもを育てている女性たちでした。

子どもの権利と女性の能力を引き出すためのセッションでは、子どもや女性の権利について取り上げました。フィリピンには児童虐待に関する法律や、女性と子どもに対する暴力に関する法律があります。参加者は児童虐待や女性への暴力について議論し、自分や他者の権利について話し合いました。

ある親は、このセッションのおかげでパートナーからの虐待に立ち向かうべく、自分と子どもたちを守る力をもらったと話していました。別の親は、以前は娘を叩いたり、怒鳴ったりしていましたが、この訓練を受けた後、自分の行動の問題に気付いた、と話していました。何人かの親から、同様のテーマでのフォローアップ訓練の要望がありました。

前向きなしつけの訓練では、ロール・プレイングやビデオ視聴等を通じて暴力は児童虐待であることを学ぶとともに、子育てのコツを学ぶことができました。





## 実施内容

子どもの権利についての訓練、しつけについての訓練、心理的な支援、家族キャンプ、お金に対する知識・能力向上を支援するセッションを行いました。

2022年11月19日

### 子どもの権利と女性のエンパワメント 入門セッション①

2022年12月10日

### 子どもの権利と女性のエンパワメント 入門セッション②

2023年1月28日

### 前向きなしつけの訓練

親が子どもの育て方を学ぶことで、家庭が子どもにとって恐怖を抱く場所ではなく、安心できる場所にすることが必要です。そのため、家庭や社会全体の虐待を防止すべく、子どもの権利や適切なしつけの仕方についての研修をしました。

2023年2月26日

### 家族キャンプ

子どもとその保護者との有意義な時間をつくることを目的として開催しました。

2023年3月18日

### 心理的・社会的なサポート、報告会

新型コロナウイルスのパンデミックは落ち着いてきていますが、家族への影響は依然として残っています。そのようなトラウマは家庭内暴力を引き起こす可能性があるため、心理的・社会的にサポートするためのセッションを行いました。

2023年3月25日

### 金融リテラシー・セッション（2回）

親がお金に対する知識をつけるため、家計管理の仕方の講習をしました。



## 今後の展望

フィリピンでは虐待が増加し、社会問題になっています。財団では、家庭内の虐待を防ぐために、家族とその子どもたちを支援する活動を開始しました。研修等を通じた予防活動は効果的であり、家族全員がそろって参加する機会を増やしていきたいです。そのため、私たちは家族を支援・育成していくためのセッションを継続し、長期的にはより多くの家族のサポートにも活用していきたいと考えています。

## 収支報告

### <収入>

項 目	金額 (円)	内 訳
全社協からの助成金	318,718	
合 計	318,718	

### <支出>

項 目	金額 (円)	内 訳
子どもの権利と女性のエンパワメントに関するセッション	39,960	食 費 17,760 円 交通費 11,100 円 資料費 8,880 円 場所代 2,220 円
前向きなしつけの訓練	39,960	食 費 17,760 円 交通費 11,100 円 資料費 8,880 円 場所代 2,220 円
心理的・社会的サポートセッション	39,960	食 費 17,760 円 交通費 11,100 円 資料費 8,880 円 場所代 2,220 円
家族キャンプ	39,960	食 費 17,760 円 交通費 11,100 円 資料費 8,880 円 場所代 2,220 円
金融リテラシー・セッション (2 回)	79,920	食 費 35,520 円 交通費 22,200 円 資料費 17,760 円 場所代 4,440 円
その他	78,958	ケース・マネジメント等 29,008 円(10名) 家 賃 49,950 円(3か月)
合 計	318,718	

注) フィリピンペソ (PHP) で提出された報告をもとに日本円に換算して表記

換算レート: 1 フィリピンペソ ≒ 2.33 円 (送金時 (2022 年 3 月 25 日) の為替レート)